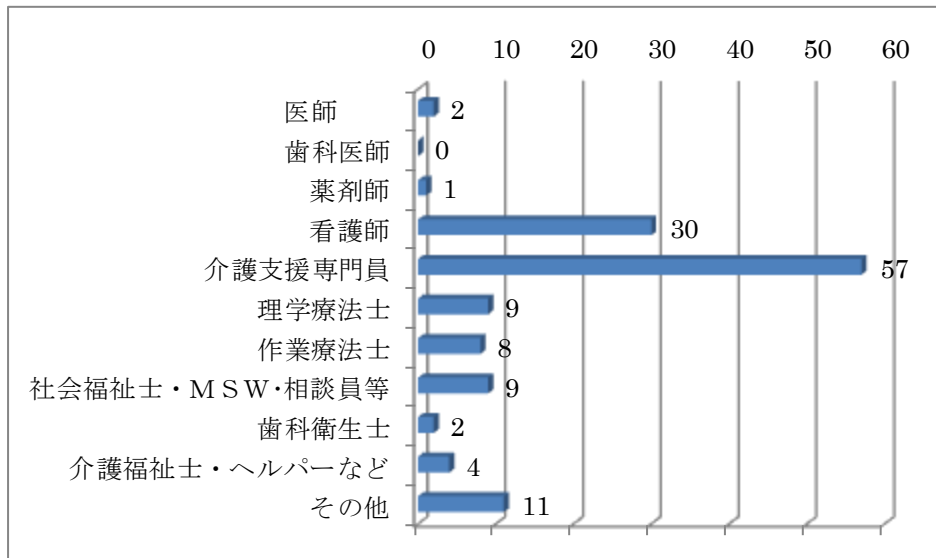


第5回在宅ケア多職種連携活動発表会 アンケート（結果）

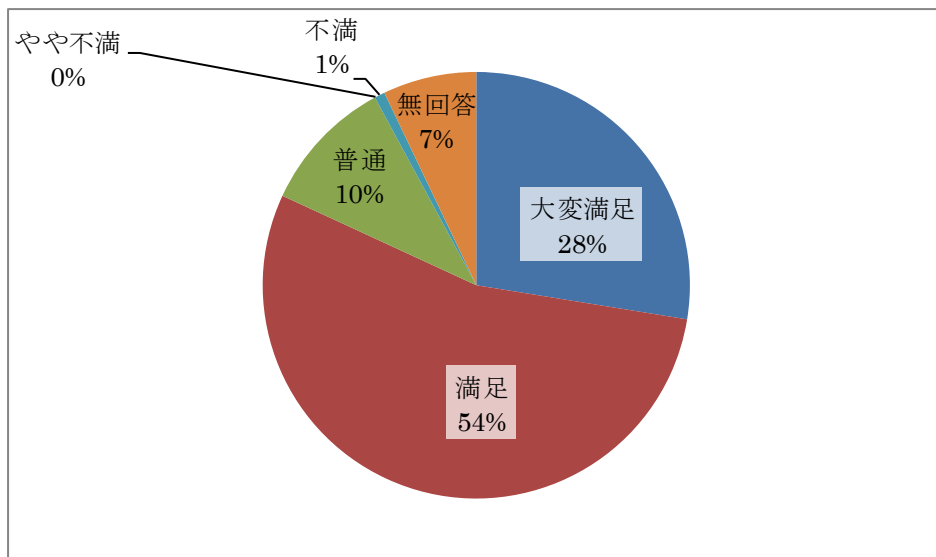
平成29年11月22日（水）19時～
ウェルパルクまもと

回答数 127 / 出席者 171（回答率 74.3%）

職種（複数選択可）



1 本日の活動発表会はいかがでしたか。



2 今後、どのような内容の話を聞いてみたいですか。また、地域や事業所の取り組みで聞いてみたいものはありますか。（抜粋）

- ・ 活動の立ち上げに際する苦労話などを聞きたいです。（後から追従するときの参考になると思います。成功例よりも失敗例も重要と思います。）
- ・ 今回のように地域の熱い取り組みがまたうかがいたいと思いました。多職種の熱意が地域の満足につながると感じました。
- ・ どのような目標を持って今があるのかを知りたいです。また、取り組みを行った結果を具体的にどのような効果があったのかを知りたいです。

- ・今回と同じ様に、様々な取り組みについて再度聞いてみたいです。また、別の施設の取り組みも知りたいです。
- ・連携の会で取り上げられた事例のご紹介の数を増やして欲しい。
- ・今回発表会に参加させて頂いて大変ためになることが多く、今後の仕事に活かしていくことがあるのではと思う部分がありました。今後も地域で新しい取り組みをされていること、新しい取り組みをしている事業所（デイ、施設等があれば）聞いてもらいたいです。
- ・引き続き他の地域がどういう取り組みをしていっているかを拝見したい。情報共有、交流のいい場所だと感じた。
- ・各圏域での事業所同士の連携をしているのか？
- ・各団体での実際に話し合われた事例やその結末など、具体的な内容を聞いてみたいです。
- ・地域包括ケアシステム、多職種連携の実施でどの様な成功例があったのか？現場スタッフの生の声を対象者（利用者）の声も含め具体的な例を伺いたい。
- ・多職種連携による具体的なメリットや成功事例を聞いてみたいです。
- ・医療と介護との連携についての取り組み
- ・地域包括ケアシステムの具体例など
- ・地域の特性。地域性などから。他区との違いなどの話、特別な取り組み
- ・地域の資源の活用事例があればテーマにして欲しい。
- ・地域ケア会議の実際
- ・地域ケア会議が進まない理由（東区は特に）
- ・在宅での老老介護の現状、介入の仕方、困難事例など
- ・まちづくり支援について
- ・地域住民主体の訪問型サービスへの取り組みやボランティア育成についての方法など
- ・地域住民の方が自主的に作られ運営されているサロンのこと等
- ・住民も協働で取り組んでいる事例
- ・地域の活動。連携の仕方、特に住民に負担がかからないようにするような工夫
- ・地域住民と他職種の方々の連携、交流できる活動、又は取り組みを具体的に知りたい。
- ・地域住民の方々が困っていることや課題、その解決方法等。たとえば認知症の方が地域で暮らしていくためにどんな協力ができるのか？どうすれば支えられるのか。
- ・地域住民の方々が気軽に来れる施設はどうしたらよいのか。来られやすい施設とは
- ・気軽に参加できる活動内容とか
- ・ボランティア、インフォーマルサービス活動について知りたい
- ・インフォーマルサービス資源の紹介や使い方（事例等含めて）
- ・福祉従事者（ケアマネ、介護スタッフ、ヘルパー）の離職対策への取り組みを行っている内容の話を聞いてみたいです。
- ・オレンジカフェの開催状況。オレンジカフェ大会とか。キャラバンメイト会の活動状況。
- ・認知症の方への多職種での関わりの事例報告等があれば聞いてみたい。特に重度の方の関わり等
- ・意欲低下が見られる認知症の方や他社や社会とのかかわりがお好きでない方（特に男性）に対して「外」に目を向けて豊かに余生を過ごしていただけるような支援方法や事例があればお聞きしたい
- ・介護業界の人材不足を多職種協働で考える
- ・認知症とその対策について 認知症の方に対しての地域住民の見守り支援など
- ・医療機関や医師との連携について
- ・在宅医療に取り組まれている医師の話を聞きたいです。

- ・ 在宅医師のディスカッション
- ・ 急性期病院で勤務しています。在宅へ向けた支援を心がけていますが、急性期病院に求めることを聞きたいです。どんなことをして欲しいか。
- ・ 活動を通しての事例をもっと聞いて、今後の退院支援に活かしたい。急性期の病院に求めるものについて知りたい。
- ・ 弁護士さんとの情報交換（無料でケア会議にきてもらえるのか？）
- ・ 災害時の緊急対応・対処の仕方（デイサービス等、事業所内での災害発生時）
- ・ 中央区・南区の活動
- ・ 区分にケアカフェ、認知症カフェ、子ども食堂などをがんばってされている方々の話を聞いてみたい。立ち上げまで、運営、成功事例、失敗事例など
- ・ 看護小規模多機能居宅介護事業所についてもっと具体的に深く知りたいと思いました。（在宅ケアを深く知っているNsがたくさんいると心強いです。）
- ・ ぞくばらん会、その後どの職種と連携したか？高齢者（利用者）へどのようにつながったか？
- ・ ぞくばらん会井手PTの話も聞いてみたいです。
- ・ 白春古の医師との連携の内容をもっと詳しく聞いてみたいと思った。
- ・ 訪問看護事業所の現状について
- ・ 生活支援コーディネーター 協議体の話
- ・ ささえりあ帯山の取り組み
- ・ 地域密着型リハセンターの取り組み
- ・ 東区の主任ケアマネネットワークの会
- ・ それぞれの地域での活動だけでなく、熊本県全体、熊本市全体としての取り組みや方針があるならば聞いてみたいです。
- ・ 素朴な疑問として市外の地域における連携の取り組みの状況がどのような状況なのか気になりました。市外地域の状況や特徴ある取り組みや遅れている話も聞きたいと思いました。
- ・ 地域連携を進めていく上で、各地区、各施設。各事業所などリーダーシップを取れる人がどう動いているのかを知りたい。
- ・ 事務所の企画・運営について
- ・ IT化・情報システムの導入について
- ・ スタッフの教育・研修について"

3 その他、今回の研修会に関するご意見・ご感想、今後のご要望等がありましたらご記入ください。（抜粋）

- ・ このような地域で多職種連携の活動が行われていることを今回初めて知りました。どの団体も種々な工夫や取り組みを行い、地域住民の方へ貢献されておられ感心しました。私は歯科衛生士ですが、どのケアカフェにも携わっていないようなのが、少し残念に思いました。今後、歯科医師とも連絡を取りながら情報収集を行っていきたいです。
- ・ 開催の回数を増やして欲しい。とても勉強になりました。活動紹介よりも事例検討の話をもう少し細かく聞きたかった。
- ・ 今回初めて参加させて頂き、多職種連携のどの話もとても素晴らしく自分のモチベーションがあがり、とても良かったです。何も自分はできないかと思いましたが、参加したことで私も活動に参加したいと気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・ 地域での多職種連携活動の現状を知る機会が初めてでした。今日のごく一部の6施設の例でしたので、自病院周囲の地域活動を知り、したいと思います。地域の状況を病院スタッフが知らないこと

を再認識しました。

- ・ 熊本市内の各地区での地域の取り組みの実際が理解できた。急性期病院からの退院支援に活かしていきたい。ありがとうございました。
- ・ 地域ががんばっていることが分かりました。
- ・ 地域での皆さんの活動を知ることができました。
- ・ 各地区・地域での活動が分かりやすくとても勉強になりました。
- ・ 地域包括ケアシステム構築に向けての取り組みで参考になることも多く、自分の地域でもできることをはじめてみようと思った。
- ・ 各地域で様々な取り組みが行われていることを知ることができ、非常に学ぶことが多かったです。多職種連携といわれるが、なかなか実際できていないので、今後活かせればと思う。
- ・ 今後も地域とのかかわりを継続して行って、熊本の高齢化社会のためのネットワークづくりを構築してください。
- ・ いろんな場所でいろんな取り組みがなされていて今後の地域包括ケアを進めていく上で、心強さを感じました。今後もどんどんこういう取り組みが増えて地域住民が安心して生活していけるようになって欲しいです。
- ・ とても勉強になりました。地域住民を巻き込んで行っていくのは大変ですが、本当に多職種でのネットワークができていくなあと感じました。
- ・ 分かりやすく説明を聞かせていただきました。「連携」「面」で見えていくことの重要性を感じた。
- ・ それぞれの職種の方が意欲を持って取り組まれている姿を見て自分自身のモチベーションが上がりました。多職種で手を取り合い、様々な困難事例を解決したり、学びあい、楽しみながら向上していけたらと思いました。
- ・ 様々な取り組みを聞く事ができ、大変勉強になりました。きっかけは小さくても、大きなつながりができており、もっと発展していくと思います。
- ・ 各区、事業所の自慢は知らない。生活支援コーディネーターの活動も知りたかった。演技は知らない。
- ・ 各地域での取り組みが少し見えることができました。続けることに意味があると思えました。失敗しても取り組んでいけるよう地域でも話し合っていこうと思います。ありがとうございました。
- ・ 自分たちのいる地域でもいろんな活動が行われていますが、いろんな地域で活発な活動があることにびっくりしました。参考になりました。
- ・ 地域の集まりに参加したいと思いました。
- ・ 各地域様々な取り組みがあることが分かった。医師、CM、SW、CW など多職種のかかわりが必要であり、事業所単位ではなく、みんなで考えていく必要があると思った。
- ・ 地域によって取り組みに対する活気への温度差を感じました。
- ・ 同じ方向を向いて進む意思の統一が大切だなあと感じました。問題意識を持って発言して、解決を導くアプローチができればいいですね。
- ・ 各地区で地域に根ざした様々な取り組みがあっていることがわかった。地域の特性を踏まえた活動がなされており、皆様が、生き生きとした活動ができていると感じた。
- ・ それぞれの地域の取り組みを聞くことで自分の地域で活かせたらいいなと思いました。
- ・ いろんな職種の方々がいろんなところで活動していることを知りました。参加したくてもチャンスがない。参加できなくても発表が聞けてよかった。
- ・ 様々な取り組みを活発にされていることを知り、ビックリです。主治医との連携等、ためになるお話が聞けてよかったです。

- ・ 活動内容がどの発表者も分かりやすく興味深い話が多く時間が短く感じた。色々な事業所、地区で自分たちがしたいことを楽しんでされているのがすごく感じました。また、活動発表会があれば参加したいと思いました。
- ・ 具体的に色々な活動されている内容を知ることがとても学べました。行動力だけでなく、何の活動もどういう目的で取り組んでいるか伝える力にすごいと感じました。(やりがいが伝わりました)自身も何か参加できたらと強く感じました。今日はありがとうございました。
- ・ 多職種で連携を実際にごんばっている方々の話を聞いてよかった。
- ・ 様々な取り組みをされているということを改めて実感したので、機会があれば参加させていただきたいと思います。
- ・ 今回6つの取り組みを聞き、自身も積極的に参画していかないといけないと反省しました。
- ・ 看護小規模「とりい」の発表は、制度のことだけでなく、「地域に根ざした」エピソードもなく、残念かったです。
- ・ もう少し看護小規模多機能居宅介護事業所の話が聞けたらと思いました。
- ・ 看護小規模の本来の機能が実践できている発表が聞いてよかった。
- ・ ケアカフェのコンセプト、おそらく薬剤師視点からの多職種連携だと思いますが、「介護者」とか「福祉者」といった言葉からも介護・福祉系職種の理解がまだ深くないんだろうと思いました。まずは仲良くなること！なんでしょうけど、お互いちゃんと学びあえることが大事かなと思います。
- ・ ケアカフェでは本当にさまざまな職種が関わっていることに驚きました。
- ・ ざっくばらん会、いいですね！やる気を感じます。
- ・ 「ざっくばらん会」「白春古」の話は具体的で分かりやすかった。多職種連携にはとても興味はありますが、なかなか行く機会がありません。今回話を聞いて良いきっかけになったと思います。
- ・ 白春古、素晴らしいです。がんばってますね！参考になりました。
- ・ 熊本県で行われている取り組みについて知ることができ、良かったです。特に白春古の取り組みは在宅ケアに携わるものとして広めていくことの必要性とても感じました。他の話でも、地域ごとの連携や顔の見える関係をつくることでより具体的なかわりができると実際に活動をされていることを学べたので良かったです。
- ・ 地域全体を巻き込んでいるミナサンカの活動に興味があった。自分の地域でしている地域のヒントになる内容がたくさんあったので参考にしていきたいと思いました。
- ・ 地域での取り組みが素晴らしい。ミナサンカの3年間の失敗は参考になった。
- ・ ミナサンカ、すいか倶楽部いいですね！とても参考になりました。
- ・ 「すいか」倶楽部のマスコットがとてもかわいいと思います。住民の関心も高まると思います。ネーミングも分かりやすく工夫されているのか興味を引きやすいと思いました。
- ・ 介護サービスと総合事業と役割分担をどうしているのか、総合事業、地域活動に各業種に求めることを伝えて欲しい。
- ・ 各団体の地域活動について知ることができてよかった。地域活動に生活を知るOTももっと介入するべきだと感じた。
- ・ 大変興味深いばかりでした。今後の自分たちの施設や地域での活動に活かしていけたらと思います。
- ・ 熊本県内で様々な活動をされていることを知りました。地域で活動していくにあたって横の連携が必要だと感じました。
- ・ 地域に携わっていらっしゃる方々の熱意やフットワーク等参考にしていきます。
- ・ 地域包括ケアシステムの構築するための方法として他職種が連携していく必要があると思います。全ての人が住み慣れた地域で暮らし続けることを支援していくためには、主人公である住民の思い

を基本として地域住民と一緒に作り上げていくことが重要だと感じております。この多職種連携の各会が、他の会や行政さらに住民とつながり広がっていくことを期待します。マンパワー確保のためにも自助、共助を進めていく必要があると思います。

- ・ 各地域の様々な職種連携による活動を知る機会となり、大変有意義でした。行政ももっと地域や各職種の中に入っていかねばいけないと痛感いたしました。ありがとうございました。上記職種の中に保健師の選択肢がなかったことについても少し考えさせられました。
- ・ 各機関や各個人の方々の先駆的な活動のお話が聞けて大変良かったです。地域における連携や情報交換の重要性を再認識しました。ただし、現行制度の中にそのような仕組みや実際連携を行った場合の評価がその様に取り込まれているのか素朴な疑問もでました。今後もう少し自分でも勉強していこうと思います。行政は更に連携を深めていくための各機関の医師などの管理者に対するアプローチを強めていく重要性を感じました。
- ・ どの取り組みも新鮮な内容だったので、特に注文はありません。
- ・ 西・東・北区と活動されている様子が聞くことができ、よい時間になりました。悩みを抱えた際、多角的に解決の糸口が見つけられる場があることは心強く感じます。
- ・ 住民・地域を支える新しい活動報告を聞かせていただきありがとうございました。
- ・ 発表者の活気ある意欲のある発表、今後の多職種連携に光が見えてきたように感じました。少しずつ2040年に対応していけるようにと思いました。
- ・ 地域包括ケアシステム、多職種連携、各事業所、地区において独自に発展、運営している点で、継続性は？
- ・ ケアシステム、文字通り、公的、私的、問わずシステム化共有して統一感ある包括ケアを目指して行えれば理想。公的機関の協力が不十分、利用者、家族にどのようにフィードバックできたのか？具体例又は問題点は？
- ・ 住民と多職種の取り組みは大変勉強になりました。
- ・ 回復期病棟と在宅の間でお互いに見えるようになると患者・利用者が安心して在宅に帰れるのではないかと思います。
- ・ 演題が多くかけ足になっていた。もっと詳しく知りたい情報が多かった。
- ・ 一部の発表で事業所のみ活動報告があったように感じました。発表する上で選定や資料の確認が必要ではと思いました。
- ・ グループディスカッションなどの時間があれば他職種の方と交流できていいかと思います。
- ・ 時間が来ると「チン」となっておわるのがとてもよかったです。スクリーンは、後ろの席はあまり見えず。
- ・ 各地域の様々な方たちの福祉の取り組みが目に見えてよかったです。もう少し発表を短くして会場からの声を聞く時間が長い方がよいのではないのでしょうか。各地域の他職種連携など。
- ・ いろんな地域から参加されるので、グループワーク形式で情報共有して発表するのも連帯感が生まれるのではないのでしょうか。
- ・ もう少し一組の話が長く具体的に聞けると良かったように思います。駆け足に感じました。
- ・ 今回初めて参加しました。多職種連携の地域規模で行われていることに感動しました。事業所内での連携で満足している自分としては刺激になったと思います。活動相談の場があるということが分かりました。もっともっと多くの方に周知していく必要があると思いました。市政だより等で周知されていたのでしょうか？
- ・ 在宅ケア多職種連携活動に関する情報をもっと広く広報していただきたい。